

「発達障害における感覚統合の視点」

～ 身体の“不器用さ”を考える ～

発達障害がある子ども達の中には、外の世界との関わり方や様々な刺激に対する反応が、上手くできない、また苦手さが強い子どもたちがいます。上手くできないことによって、生きる世界の変化に対応できず、日常生活場面や学習場面、対人関係において、つまずきが起こることがあります。そのつまずきは周囲からは見えにくく、また理解されにくいいため、周囲の理解不足が子ども達の心を傷つけてしまうことも少なくありません。

「感覚統合」の視点は、子ども達の行為・行動への理解やその子ども達の戸惑いや困難さを理解する手がかりがつかめると思います。発達障害がある子ども達のつまずきを少しでも理解し、守り育てていくために私たちは自分たちにできることを高め積み重ねていかなければなりません。

今回の発達支援セミナーでは、感覚統合についての基礎的な視点について皆様と一緒に子どもたちへのサポートの在り方を学びたいと思い、ご案内申し上げます。

- ◆ 日時 平成22年9月12日(日) 11:00～16:00 (受付 10:30～)
- ◆ 講師 原國 優子 氏 日本リハビリテーション専門学校 作業療法士

◆ 内容

11:00～13:00	感覚統合の視点 <概論>
14:00～15:30	遊具体験
15:30～16:00	まとめ

- ◆ 場所 県立特別支援学校伊賀つばさ学園 (名張市美旗町南西原 229-2 Tel.0595-67-1050)
- ◆ 対象者 保育、幼稚園、教育、福祉関係者など
- ◆ 定員 約 60名 (定員となり次第締め切ります)
- ◆ 受講料 2,000円
- ◆ 申込方法 氏名、連絡先、必要枚数を“ぱれっと”までFaxで申し込みして頂いた後、銀行口座にお振込み下さい。(裏面のFax専用用紙で申し込み下さい)

感覚統合とは？

感覚統合療法は、発達障害児のリハビリテーション、療育実践として、主に医療現場(作業療法)で発展してきました。この療法では、子どもの学習、行動、情緒あるいは社会的発達を脳における感覚間の統合という視点で分析し、治療的介入を行います。対象となる障害は、LD(学習障害)や自閉症などの発達障害が中心ですが、その理論と実践法の原理は、精神障害や高齢者のケア実践にも応用されてきています。

(日本感覚統合学会ホームページより)

「発達障害における感覚統合の視点」
～ 身体の“不器用さ”を考える ～

受 講 申 込 書

- 1) 申し込み 席に限りがあり、事前申し込みが必要です

下記の欄に必要な事項をご記入の上、FAX で申し込み頂いた後、銀行口座にお振込み下さい。

銀行口座 : 百五銀行 桔梗が丘支店 普通 539940

社会福祉法人 名張育成会 理事長 上村友則

- 2) 申込期限

平成 22年 8月 31日 (火) ※席に限りがあり、定員になり次第締め切り

- 3) キャンセル等

申し込み後、キャンセルされます場合は、お手数ですが8月31日までに支援センターぱれっとまでご連絡をお願い致します。8月31日以降のキャンセルにつきましては、一切の返金は致しかねますので、あらかじめご了承下さい。

- 4) その他

同一団体で複数申しこまれる場合、まとめてお申し込み下さいますよう、お願い致します。

合計人数 名	連絡先 (必ずご記入ください) TEL : Fax :
ふりがな お名前 (所属) <代表者>	ふりがな お名前 (所属)
ふりがな お名前 (所属)	ふりがな お名前 (所属)
ふりがな お名前 (所属)	ふりがな お名前 (所属)
ふりがな お名前 (所属)	ふりがな お名前 (所属)
ふりがな お名前 (所属)	ふりがな お名前 (所属)

(ご記入いただいた個人情報についてはセミナーに関する連絡目的以外に使用しません)

社会福祉法人 名張育成会 こどもグループ

療育センターどれみ 児童デイサービスなちゅ 児童デイサービスゆうら

こども発達支援センターはーと 地域生活支援センターぱれっと

<問い合わせ> 地域生活支援センターぱれっと (名張市西原町2625)

TEL 0595-67-0088/Fax 0595-65-8210

